

紀の国わかやま国体セーリング競技リハーサル大会
高松宮妃記念杯第 60 回全日本実業団ヨット選手権大会
第 16 回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会
2014 年全日本セーリング選手権大会

実施要項



きいちゃん

- 共同主催 公益財団法人日本セーリング連盟
全日本実業団ヨット連盟 セーリングスピリッツ協会
和歌山市 和歌山市教育委員会
紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会和歌山市実行委員会
和歌山県セーリング連盟
- 後 援 日本470協会 日本スナイプ協会 日本420協会
日本レーザークラス協会 日本ウインドサーフィン協会
和歌山県 和歌山県教育委員会
紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会
公益社団法人和歌山県体育協会 和歌山市体育協会
- 協 力 特定非営利活動法人和歌山セーリングクラブ

本実施要項の JSAF 承認番号は H26-15

1 期 日 平成 26 年 9 月 13 日(土)～9 月 15 日(月)

2 会 場 和歌山セーリングセンター
(所在地) 和歌山県和歌山市毛見 1514 和歌山マリーナシティ内

3 適用規則

- (1) 2013-2016 セーリング競技規則 (以下「規則」という。) に定義された規則を適用する。
ただし、これらの規則等のうち、本実施要項によって変更されたものを除く。
- (2) 付則 P を適用する。
- (3) 国際スナイブ級については、規則 41 に以下を追加して適用する。
「艇は、同一チームの他の艇から援助を受けることができる。」
- (4) 国際スナイブ級については、規則 60.1(b) に以下を追加して適用する。
「艇は、同一チームの他の艇から受けた損傷又は傷害にもとづく救済を求めることはできない。」
- (5) 国際スナイブ級について、SCIRA クラス規則「国内選手権及び国際選手権大会運営のための運営規則」は適用しない。
- (6) 国体ウインドサーフィン級について、付則 B を適用する。ただし、規則 B5、B8 及び B9 は適用しない。

4 広 告

艇は主催団体により選択され提供された広告を表示するよう、要求されることがある。

5 競技種目

- 全日本実業団ヨット選手権大会
 - ・国際 470 級
 - ・国際スナイブ級
- 全日本セーリングスピリッツ級選手権大会
 - ・セーリングスピリッツ級
- 全日本セーリング選手権大会
 - ・国際 470 級
 - ・国際 420 級 (少年男子・少年女子)
 - ・レーザー級 (成年男子)
 - ・レーザーラジアル級 (成年女子・少年男子・少年女子)
 - ・国体ウインドサーフィン級 (成年男子・成年女子)

6 日 程

| 月 日 | 時 間 | 内 容 |
|-----------|-------------|---------|
| 9月12日 (金) | 9:30~16:00 | 受 付 |
| | 9:30~17:00 | 計 測 |
| 9月13日 (土) | 8:00~ 9:30 | 受 付 |
| | 8:00~11:30 | 計 測 |
| | 9:30~10:00 | 開会式 |
| | 10:00~10:40 | 競技運営説明会 |
| 9月15日 (月) | 14:30~15:30 | 閉会式 |

| 月 日 | 予告信号 時 刻 | A海面 | | 予告信号 時 刻 | B海面 | |
|--------------|-------------|---------|-------|--------------|--------------|-------|
| 9月13日 (土) | 13:00 | 国際470級 | 第1レース | 13:10 | 国体ウインドサーフィン級 | 第1レース |
| | 13:05 | 国際スナイブ級 | 第1レース | 13:40 | セーリングスピリッツ級 | 第1レース |
| | 13:10 | 国際420級 | 第1レース | 13:45 | レーザーラジアル級 | 第1レース |
| | 13:15 | レーザー級 | 第1レース | | | |
| | 引続き | 国際470級 | 第2レース | 引続き | 国体ウインドサーフィン級 | 第2レース |
| | | 国際スナイブ級 | 第2レース | | セーリングスピリッツ級 | 第2レース |
| | | 国際420級 | 第2レース | | レーザーラジアル級 | 第2レース |
| | | レーザー級 | 第2レース | | | |
| 9月14日 (日) | 10:00 | 国際470級 | 第3レース | 10:10 | 国体ウインドサーフィン級 | 第3レース |
| | 10:05 | 国際スナイブ級 | 第3レース | 10:40 | セーリングスピリッツ級 | 第3レース |
| | 10:10 | 国際420級 | 第3レース | 10:45 | レーザーラジアル級 | 第3レース |
| | 10:15 | レーザー級 | 第3レース | | | |
| | 13:00 | 国際470級 | 第4レース | 13:10 | 国体ウインドサーフィン級 | 第4レース |
| | 13:05 | 国際スナイブ級 | 第4レース | 13:40 | セーリングスピリッツ級 | 第4レース |
| | 13:10 | 国際420級 | 第4レース | 13:45 | レーザーラジアル級 | 第4レース |
| | 13:15 | レーザー級 | 第4レース | | | |
| 引続き | 国際470級 | 第5レース | 引続き | 国体ウインドサーフィン級 | 第5レース | |
| | 国際スナイブ級 | 第5レース | | セーリングスピリッツ級 | 第5レース | |
| | 国際420級 | 第5レース | | レーザーラジアル級 | 第5レース | |
| | レーザー級 | 第5レース | | | | |
| 9月15日 (月) | 9:30 | 国際470級 | 第6レース | 9:40 | 国体ウインドサーフィン級 | 第6レース |
| | 9:35 | 国際スナイブ級 | 第6レース | 10:10 | セーリングスピリッツ級 | 第6レース |
| | 9:40 | 国際420級 | 第6レース | 10:15 | レーザーラジアル級 | 第6レース |
| | 9:45 | レーザー級 | 第6レース | | | |

- (1) 各海面の引き続き行うレースは、その前のレースの各種目終了後、引き続き行う。
- (2) 国際470級は、全日本実業団選手権大会と全日本セーリング選手権大会を同時スタートで実施する。
- (3) 国体ウインドサーフィン級(成年男女)、国際420級(少年男女)、レーザーラジアル級(成年女子、少年男女)は、それぞれの種目において、全種別が同時スタートを実施する。
- (4) 天候等の事情により競技日程及びレース海面は、レース委員会において変更することがある。

7 参加艇数・水域別割当

| 全日本実業団 ヨット選手権大会 | | 全日本 セーリング スピリッツ級 選手権大会 | 全日本セーリング選手権大会 | | | | |
|---|-------------|---------------------------------|---|--------------|------------------|-------|----------------------|
| 国際 470級 | 国際 スナイプ級 | セーリング スピリッツ級 | 国際 470級 | 国際 420級 | 国体ウインド サーフィン級 | レーザー級 | レーザー ラジアル級 |
| | | | | 少年男子 少年女子 | 成年男子 成年女子 | 成年男子 | 成年女子 少年男子 少年女子 |
| 40艇 (注1) | 60艇 (注2) | 30艇 | 40艇 (注1) | 30艇 | 30艇 | 30艇 | 60艇 |
| 一部水域で割り当てに不足が生じた場合、全日本実業団ヨット連盟により再割当する。 | | | 申込み艇数が参加艇数を超えた場合、実行委員会が調整することがある。 | | | | |
| 水域割当参加チーム | | | | | | | |
| 東北・関東 8 | 東北・関東 9 | | (注1) 参加艇数は、全日本実業団ヨット選手権大会と全日本セーリング選手権大会の合計数。 | | | | |
| 中部 4 | 中部 9 | | | | | | |
| 近畿・北陸 1 | 近畿・北陸 1 | | | | | | |
| 関西 3 | 関西 5 | | (注2) 全日本実業団ヨット選手権の参加艇数が60艇とならない場合は、オープン参加を認める。オープンは、1艇のみでの参加も認める。 | | | | |
| 中・四国 5 | 中・四国 4 | | | | | | |
| 九州 2 | 九州 2 | | | | | | |
| 合計 23艇 | 合計 30チーム | | | | | | |

8 チームの艇数及び登録人数

| 全日本実業団 ヨット選手権大会 | | 全日本 セーリング スピリッツ級 選手権大会 | 全日本セーリング選手権大会 | | | | |
|--|---|---------------------------------|----------------|----------------|------------------------------|----------------|----------------------|
| 国際 470級 | 国際 スナイプ級 | セーリング スピリッツ級 | 国際 470級 | 国際 420級 | 国体ワインド ^o サフィン級 | レーザー級 | レーザー ラジアル級 |
| | | | | 少年男子 少年女子 | 成年男子 成年女子 | 成年男子 | 成年女子 少年男子 少年女子 |
| 1艇 | 2艇 オープンは1艇 | 1艇 | 1艇 | 1艇 | 1艇 | 1艇 | 1艇 |
| 監督1名 選手5名以内 470級登録者は スナイプ級に登録 できない。 ただし、全日本 実業団ヨット 連盟が認める 場合を除く。 | 監督1名 選手9名以内 スナイプ級登録者 は470級に登 録できない。 ただし、全日本 実業団ヨット 連盟が認める 場合を除く。 オープンは、 登録選手2名。 | 1艇の登録 人員は2名 | 1艇の登録 人員は2名 | 1艇の登録 人員は2名 | 1艇の登録 人員は1名 | 1艇の登録 人員は1名 | 1艇の登録 人員は1名 |

9 参加資格及び参加申込条件

| | | | | | | | |
|--------------------------------|--|--|--------------------------|--|--------------------------|--|--|
| 全日本実業団 ヨット選手権大会 | | 全日本 セーリング スピリッツ級 選手権大会 | 全日本セーリング選手権大会 | | | | |
| 国際 470級 | 国際 スナイブ級 | セーリング スピリッツ級 | 国際 470級 | 国際 420級 | 国体ウインド サーフィン級 | レーザー級 | レーザー ラジアル級 |
| | | | | 少年男子 少年女子 | 成年男子 成年女子 | 成年男子 | 成年女子 少年男子 少年女子 |
| 平成26年度 日本セーリング連盟メンバー登録を終えた者 | | | | | | | |
| ①乗員のうち1名以上は、バッ ジテスト中級4級以上の者 | | 成年は、バッジテスト中級4級以上の者 少年は、バッジテスト初級5級以上の者 | | ウインドサ ーフィン・ バッジテス ト中級以上 の者 | | 成年は、バッジテスト中級 4級以上の者 少年は、バッジテスト初級 5級以上の者 | |
| ②地方水域の実業団ヨット連 盟から推薦を受けた者 | | 各都道府県セーリング・ヨット連盟又は主催団体の推薦を受けた者 | | | | | |
| ③メンバーは、実業に従事して いること | | | 平成8年4月 1日以前に 生まれた者 | 平成8年4月 2日以降に 生まれた 中学2年生 以上の者 | 平成8年4月 1日以前に 生まれた者 | 平成8年4月 1日以前に 生まれた者 | 成年女子は、 平成8年4月 1日以前に 生まれた者 少年男女は、 平成8年4月 2日以降に 生まれた 中学2年生以 上の者 |
| ④メンバーは、平成8年4月 1日以前に生まれた者 | | 参加者が未成年の場合は、監督が付き添うこと。 監督は、複数の艇の監督を兼ねることができる。 | | | | | |
| | ⑤スキッパー、クル ーと艇体は、平成 26年度 SCIRA 登録を終了し ていること | | | | | | |
| | オープンは、 ②③不要 | | | | | | |

10 参加申込

(1) 申込方法

参加申込書を下記ホームページからダウンロードし、必要事項を記入のうえ、「電子メール」又は「郵送」により、申し込むものとする。

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会和歌山市実行委員会ホームページ

<http://www.kokutai-wakayamacity.jp/game/7019>

※電子メール送付先：kokutaikyugi@city.wakayama.lg.jp

※郵送による送付先：〒640-8232 和歌山市南汀丁 18 番地 和歌山東急インビル 4 階

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会和歌山市実行委員会事務局

(2) 申込期限

電子メール及び郵送による申込期間は、平成 26 年 7 月 14 日（月）から 8 月 15 日（金）までとする。

(3) 参加料の納付先

平成 26 年 8 月 15 日（金）までに、下記銀行口座に振り込むこと。

【全日本実業団ヨット選手権大会（国際スナイプ級のオープン参加は除く）】

銀行名 三菱東京UFJ銀行 新丸の内支店（店番号：422）

口座番号 普通預金 4822413

口座名義 全日本実業団ヨット選手権大会事務局 外尾竜一（ホカオリユウイチ）

【全日本セーリングスピリッツ級選手権大会・全日本セーリング選手権大会

・国際スナイプ級のオープン参加】

銀行名 紀陽銀行 和歌山市役所支店（店番：234）

口座番号 普通預金 383429

口座名義 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会和歌山市実行委員会
事務局長 吉増 健

11 参加料

参加料は、次のとおりとする。

| 全日本実業団 ヨット選手権大会 | | 全日本 セーリング スピリッツ級 選手権大会 | 全日本セーリング選手権大会 | | | | |
|--------------------|---|---------------------------------|---------------|--------------|------------------|--------------|----------------------------------|
| 国際 470級 | 国際 スナイプ級 | セーリング スピリッツ級 | 国際 470級 | 国際 420級 | 国体ウインド サーフィン級 | レーザー級 | レーザー ラジアル級 |
| 1チーム 20,000円 | 1チーム 40,000円 オープンは、 1艇 10,000円 | 1艇 8,000円 | 1艇 10,000円 | 1艇 6,000円 | 1艇 5,000円 | 1艇 5,000円 | 成年女子 5,000円 少年男女 3,000円 |

12 計 測

(1) 計測される艇体・セール・スパー類及び艀装品は、以下のとおりとする。

| 全日本実業団 ヨット選手権大会 | | 全日本 セーリング スピリッツ級 選手権大会 | 全日本セーリング選手権大会 | | | | |
|--------------------|-------------------------------------|---------------------------------|---------------|------------|------------------|-------|---------------|
| 国際 470級 | 国際 スナイプ級 | セーリング スピリッツ級 | 国際 470級 | 国際 420級 | 国体ウインド サーフィン級 | レーザー級 | レーザー ラジアル級 |
| 1艇 1組 | 1艇 1組 セール2組 (オープンは、 セール1組) | 1艇 1組 | 1艇 1組 | 1艇 1組 | 1艇 1組 | 1艇 1組 | 1艇 1組 |

(2) 参加艇は、大会計測を受ける時点でクラスルールを満たしていなければならない。

(3) レースに使用する艇は、レース前に計測部が行う計測等の検査を受け、その承認を得たものに限られる。

(4) 計測時に艇は、できる限り乾燥した状態であること。また、艇の計測後の改造は許されない。

(5) 参加艇は、計測証明書（国体ウインドサーフィン級、セーリングスピリッツ級、レーザー級、レーザーラジアル級を除く）を持参し、受付時に確認を受けること。

国際470級、国際420級及び国際スナイプ級のセールについては、クラス規則に適合していることを示す公式計測員のサインと計測を行った日付がセールに記載されていること。

艇体番号及びセール番号が異なる場合は、それぞれの証明書を持参すること。

国際470級及び国際420級について、レース委員会が承認した場合を除き、メインセールとスピネーカーのセール番号は一致しなければならない。

(6) 国際スナイプ級、セーリングスピリッツ級、国体ウインドサーフィン級は、本年度艇登録証（ステッカー）を艇体又はボードに貼付していること。

(7) レース委員会は艇が規則に適合していることを確認するために、大会期間中いつでも再計測を行うことができる。また、各種目ともレース終了後、任意に抜き取り、海上又は陸上で計測を行うことがある。

(8) 国体ウインドサーフィン級は、1枚のボードに3枚のセール、1枚のセンターボードの使用が許可される。

(9) 国体ウインドサーフィン級の「セール番号」は国体で使用する県番号をセール番号とすることができる。ただし、同一県番号が発生した場合は選手双方で協議し、末尾に数字(-1 又は-2)を追加する。

また、成年女子は赤色ひし形(一辺 180 mm)の識別マークを両面の同じ位置に表示しなければならない。

13 帆走指示書

帆走指示書は、平成 26 年 7 月 31 日(木)までに、「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会和歌山市実行委員会ホームページ」に掲載する。

14 レースエリア

和歌山市和歌浦湾にA海面、B海面を設定する。

詳細は、帆走指示書にて指示する。

15 コース

A海面：トラペゾイドコース、B海面：スラロームを含む、風上風下コースを設定する。

詳細は、帆走指示書にて指示する。

16 得点

(1) シリーズの成立には、1レースを完了することを必要とする。

(2) 艇（国際スナイプ級はそのチーム）のシリーズの得点は、

① 5レース未満しか完了しなかった場合は、レース得点の合計とする。

② 5レース以上が完了した場合は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

この項は規則 A2 を変更している。

(3) 国際スナイプ級のチームのシリーズ得点は、チームを構成する 2 艇のシリーズ得点の合計とし、合計得点が少ないチームを上位とする。1 艇チームの場合は、1 艇のシリーズ得点に 1 艇の DNC（参加艇数+1 点）のシリーズ得点を加算したものをそのチーム得点とする。

(4) 同時にスタートした種目については、そのレース毎の順位で得点を計算し、個別種別毎での得点計算は行わない。

(5) 国際スナイプ級の得点は、オープン参加の艇を含めて一連の順位を決定し得点を与える。

(6) 国際 470 級の得点は、全日本実業団ヨット選手権大会及び全日本セーリング選手権大会に参加する国際 470 級全艇で一連の順位を決定し得点を与える。

17 賞

| 全日本実業団 ヨット選手権大会 | | 全日本 セーリング スピリッツ級 選手権大会 | 全日本セーリング選手権大会 | | | | |
|---|---|--------------------------------------|--------------------------------------|---|---|--------------------------------------|--|
| 国際 470級 | 国際 スナイブ級 | セーリング スピリッツ級 | 国際 470級 | 国際 420級 | 国体ワイント [®] サーフィン級 | レーザー級 | レーザー ラジアル級 |
| | | | | 少年男子 少年女子 | 成年男子 成年女子 | 成年男子 | 成年女子 少年男子 少年女子 |
| 優勝チーム ・山縣記念杯 ・実業団会長杯 (持ち回り) | 優勝チーム ・実業団会長杯 (持ち回り) 同一企業のメン バーで構成され たチームのうち 最優秀チーム ・高松宮妃記念杯 (持ち回り) | 優勝 ・SS協会優勝杯 (持ち回り) | 優勝 : 優勝杯 2位-3位: 盾 1位-6位: 賞状 | 総合優勝 : 優勝杯 2位-3位: 盾 少年男子 1位-6位: 賞状 少年女子 1位-6位: 賞状 | 総合優勝 : 優勝杯 2位-3位: 盾 成年男子 1位-6位: 賞状 成年女子 1位-6位: 賞状 | 優勝 : 優勝杯 2位-3位: 盾 1位-6位: 賞状 | 総合優勝 : 優勝杯 2位-3位: 盾 成年女子 1位-6位: 賞状 少年男子 1位-6位: 賞状 少年女子 1位-6位: 賞状 |
| 優勝チーム : 優勝盾 2位-3位: 盾 1位-8位: 賞状 | 優勝チーム : 優勝盾 2位-3位: 盾 1位-8位: 賞状 なお、オープンは 別途表彰する。 | 優勝 : 優勝盾 2位-3位: 盾 1位-6位: 賞状 | | | | | |
| 優勝チームの スキッパー1名 に対し、平成26 年度全日本470 級ヨット選手 権大会への出 場権が日本470 協会から与え られる。 | 優勝チームの スキッパー2名に 対し、平成26年度 全日本スナイブ 級ヨット選手権 大会への出場権 が日本スナイブ 協会から与えら れる。 | | | | | | |

18 上 告

日本セーリング連盟規程 4.3 に基づき、プロテスト委員会の判決をもって最終とする。

19 支援艇

各チームの支援艇は、レース委員会事務局にて入手できる「支援艇許可書」に記入の上、9月12日（金）9:00から9月13日（土）9:00までにレース委員会事務局へ提出し許可を受けることにより、9月12日（金）から15日（月）までの間は使用できる。

- ・出艇から帰着するまでの間、主催者が貸与した旗を掲揚しなければならない。
- ・係留は、和歌山マリーナシティ内の指定桟橋に係留しておかなければならない。

20 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線通信を行ってはならない。またすべての艇が利用できない無線通信を傍受してはならない。この制限は、携帯電話及びGPSにも適用する。ただし、主催者が用意するトラッキングシステム（GPS）は含まない。

21 責任の否認

本大会は、競技者が自分自身の責任（規則4「レースをすることの決定」参照）において参加することが条件であることから、主催団体は大会前、大会中、大会後に生じた物的損傷又は身体障害、死亡に対するいかなる責任を負わない。

22 その他の要件

(1) 受付時に提示するもの

ア 平成26年度公益財団法人日本セーリング連盟メンバー証

イ 計測証明書（国体ウインドサーフィン級、セーリングスピリッツ級、レーザー級、レーザーラジアル級を除く）

ウ バッジテスト資格認定証

(2) 競技艇・装備について

ア 競技艇等一式は、参加チームあるいは個人で用意すること。

イ 個人用浮揚用具（ライフジャケット）は、下記のとおりでなければならない。

- ① 海上では有効な浮力を有する適切な個人用浮揚用具（ライフジャケット）を着用する。
- ② 個人用浮揚用具（ライフジャケット・自分の体重を支えるのに十分な浮力を有し、かつ下記「個人用浮揚用具（ライフジャケット）に関する指針」に適合するもの）を参加チームあるいは個人が持参すること。

【個人用浮揚用具（ライフジャケット）に関する指針】

- ① 適当な工作方法及び材料で作られたものであること。
- ② 着用した状態で競技を行うのに支障がなく、かつ誤った方法で着用されないように作られたものであること。
- ③ 非常に見えやすい色のものであること。
- ④ 通常的环境条件及び油又は油性品により、急激な強度劣化及び浮力変化のないものであること。
- ⑤ 水中において、顔面を水面上に支持できるものであること。
- ⑥ 浮力体の抜き取りなどの改造を施したもの、自作したものでないこと。

23 大会期間中の肖像権等について

大会期間中に撮影された映像、写真及び個人名を含む成績は、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会和歌山市実行委員会のホームページ及び関係団体ホームページ、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会和歌山市実行委員会又は和歌山市が発行する報告書、広報紙、ホームページ等に掲載されることがある。

24 本要項に関する問い合わせ先

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会和歌山市実行委員会事務局（和歌山市 国体競技課）

〒640-8232 和歌山市南汀丁 18 番地 和歌山東急インビル 4 階

TEL：073-433-6790（担当：田村、仲）

FAX：073-433-6777

電子メールアドレス：kokutaikyoudi@city.wakayama.lg.jp

